

加佐中学校区が進める小中一貫教育

舞鶴市小中一貫教育の定義

義務教育9年間を連続した期間と捉え、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生徒指導を行うとともに、教職員や児童生徒が連携・交流を深めることにより、小学校と中学校が協働して系統的・継続的に行う、いわゆる「義務教育課程のシームレス化」を図る教育活動とします。

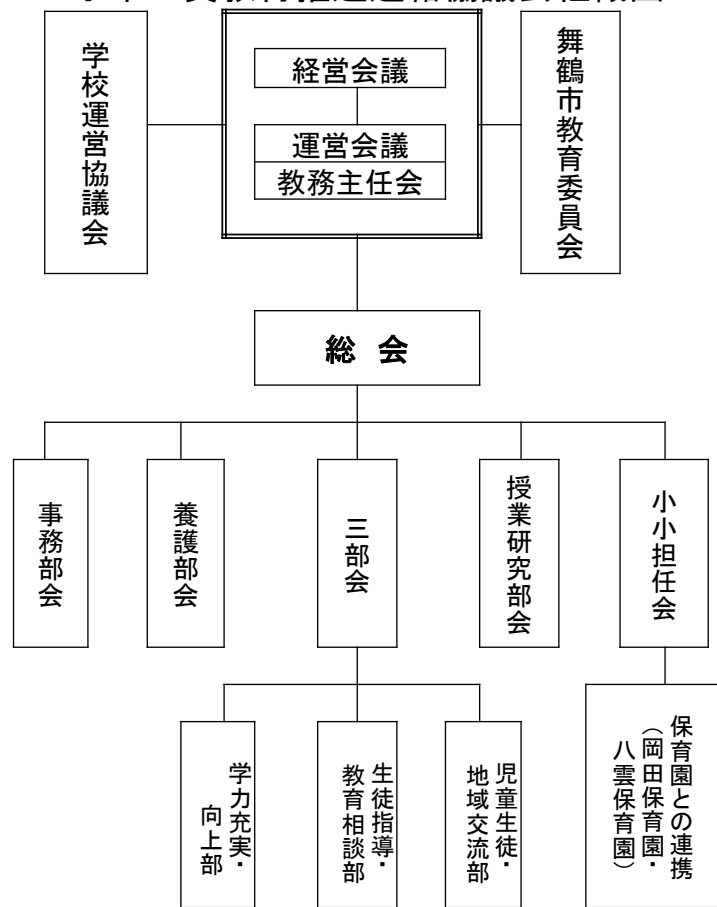
舞鶴市小中一貫教育の目指す目標

- 1 義務教育9年間で修了するのにふさわしい学力の定着
- 2 豊かな人間性や社会性の育成
- 3 小中学校教職員の協働による9年間を見通した一貫性・継続性のある指導

舞鶴市の特色を活かした学習活動の推進

- 1 ふるさと学習の推進(自然・歴史・文化・産業等)
- 2 外国語教育の推進(国際港湾・交流都市 舞鶴)

加佐中学校区 小中一貫教育推進連絡協議会組織図



目指す子ども像

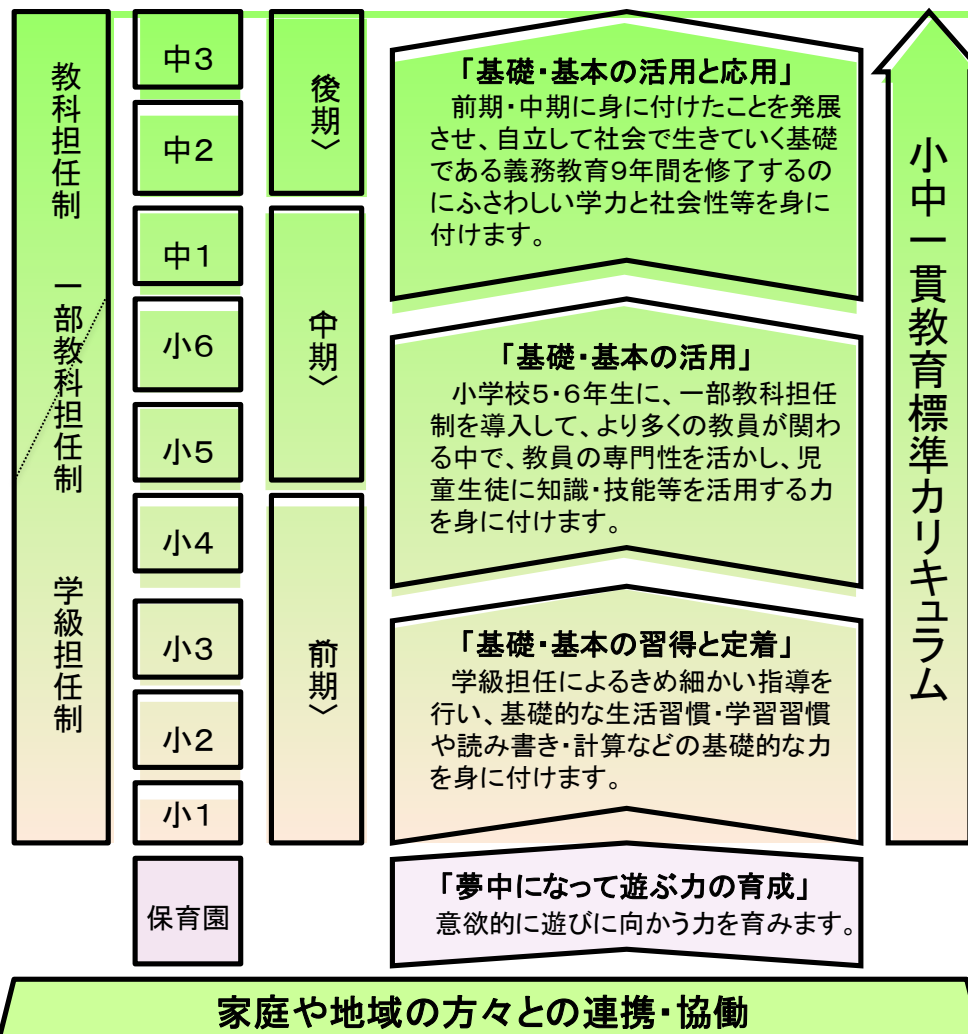
「ふるさと加佐を愛し、
夢・未来に向かって歩み続ける子ども」

- つながって自分から学ぶ子
- たくましい心と体を持つ子
- ふるさと加佐を誇りに思う子

研究主題

～自分から動き出す授業へ～

- ★ 子どもが主体的に課題に関わる授業の創造
- ★ 小中一貫性のある問題解決型授業の構築



つながって 自分から学ぶ子

子どもたちがさまざまにつながって自分から学ぶことを通して、学習意欲や学力の向上を図ります。

- ・ 小中一貫教育標準カリキュラムの実施
- ・ 小小合同学習・小中合同授業の実施
- ・ 中学校教員の乗り入れ授業
- ・ 小小連携・小中連携・保小連携

たくましい 心と体を持つ子

規範意識や社会性を育み、自己肯定感を高めるとともに、子どもたちの体力の向上を図ります。

- ・ 「仲間づくり」「居場所づくり」「絆づくり」の実践
- ・ 子どもの基本的な生活習慣の確立
- ・ 体力向上の取組

ふるさと加佐を 誇りに思う子

地域との交流学習を通して、ふるさと加佐への愛着を深め、主体的に地域と関わる子どもを育てます。

- ・ 各地域の敬老会や行事等への参加
- ・ 各学年のふるさと学習の実施
- ・ 地域関係団体との交流学習の実施
- ・ 地域学校支援協議会活動の実施